



都立南大沢学園通信

～情熱・誠実・実践～

東京都立南大沢学園
校長 井上 美保
令和6年9月2日発行
9月号

基礎基本の積み重ね

副校長 窪田 隆徳

42日間という長い夏休みが終わり、本日から前期のまとめとなる9月の授業が始まります。夏休み中、机に向かって学習する機会はどのくらいありましたか。宿題等に取り組んでいたとは思いますが、長い間、学習に取り組んでいなかったと感じる生徒は、早く学習のリズムを取り戻し、9月以降も充実した学校生活を送るようにしていきましょう。9月9日(月)からは前期期末考査も始まります。これまでの学習内容をしっかりと振り返り、考査に臨んでください。

さて、この夏、全国高等学校野球選手権大会(いわゆる夏の甲子園)が100周年を迎え、多くの試合で選手達が素晴らしいプレーを披露してくれました。その中で特に印象に残ったのは、エラーを恐れずに懸命に白球を追いかける選手達の守備でした。ファインプレーの数々も日頃の基礎基本の積み重ねがあって、初めて甲子園のような大舞台でも自信をもってプレーをすることができます。これまでの練習で基礎基本を積み重ねて、それをしっかりと発揮することができた素晴らしさを、甲子園でプレーする選手達から学びました。

基礎基本の積み重ねは、南大沢学園での学びでも重要なことです。日頃の学習で基礎基本を学び、それらを繰り返し練習して身に付けたことは、インターンシップや現場実習、実際の就労場面で自信をもって発揮させることができます。しかしながら、ただ毎日同じことを、同じ気持ちで繰り返すだけでは決して自分の力にはなりません。常に自分の課題と向き合いながら、その課題を克服するために、どのような力を身に付ければ良いか、その力を身に付けるために日頃の学習にどう取り組めば良いかを考えてみてください。それが『主体的な学び』へと繋がっていきます。

今日から始まる学校生活の中で、7月まで積み重ねてきた基礎基本を思い出し、これからの学習でしっかりと身に付けて、いつでもどこでも発揮できるようにしていきましょう。

自分を知ること

主幹教諭 三浦 里沙

皆さん、どんな夏休みを過ごすことができましたか。生活リズムを整え、学習に向かっていきましょう。また、9月は前期のまとめの時期です。期末考査に向け学習を進めて下さい。

さて、先生達も夏休みに研修会を行い、生徒の皆さんが学校生活をより良く過ごせるように、勉強をしています。進路の研修会では「企業が就労に求める力」について勉強しました。その中で、「求める人材・活躍できる人材」についてのお話もありました。

求める人材・活躍できている人材

- ◆毎日通えて、元気なあいさつができる
- ◆場にふさわしい態度（敬語・身だしなみなど）
- ◆注意や指摘を素直に聞き入れ修正できる力
- ◆前向きに努力する力
- ◆変化に対応できる力

このように、企業の方が「求める人材・活躍できる人材」については、日頃の学校生活で気を付けている基本的なことだと思います。9月以降の学校生活の中でも、引き続き基礎・基本ができているか確認していきましょう。

7月24日（水）に「校長と語る会」が初めて行われました。学校生活の充実を図るために、生徒の意見が教育活動に少しでも反映できるように取り組んでいきます。

